

銀座 露天の湯 日和ホテル東京銀座EAST

東京都中央区

設計・監理／松田平田設計
施工／三井住友建設



心温かいホテル

サンフロンティア不動産が手掛ける「日和ホテル」ブランドの都内進出第1号である。インバウンド需要にも応える都市型観光ホテルとして、日本のおもてなしとその地域ならではの雰囲気、文化を体感できる「心温かいホテル」がテーマとなっている。敷地は、新富町駅、宝町駅、八丁堀駅、京橋駅の4駅からのアクセスに恵まれ、観光やビジネスの拠点としてのポテンシャルが期待できる好立地である。

ホテルの顔となる1階エントランスロビーは、レストランとともに天井高4mの開放的なひとつながりの空間としたことで、居心地の良さと、ほどよい非日常の高揚感が共存する空間となっている。道路に緩やかな勾配があり、レストランの床レベルが周囲から少し下がるため、レストランと道路との間に緩衝帯としてのピロティを設けた。これにより、ホテルの雰囲気を損なうことなく、植栽越しに外部の様子も感じられるカフェ・レストランとなっている。

客室は3.1mスパン間口の18㎡を主体としながら、ベッドルームの天井高2.6mに加えて□1.5mの大きな開口部を設けることで、開放的でリピーターにも飽きさせない客室空間を実現した。

全体的な建築計画としては、基準階における客室PSの集約化や、二直階段の緩和規定等により専有率を高めた効率的なプランを追求した。また最上階には、露天風呂を持つ大



上/ロビー 下/アプローチ夜景

浴場や、スカイツリーを臨む屋外テラスを設けることで、ホテルの価値を高めつつ、都心の貴重な土地を余すところなく活用する計画とした。

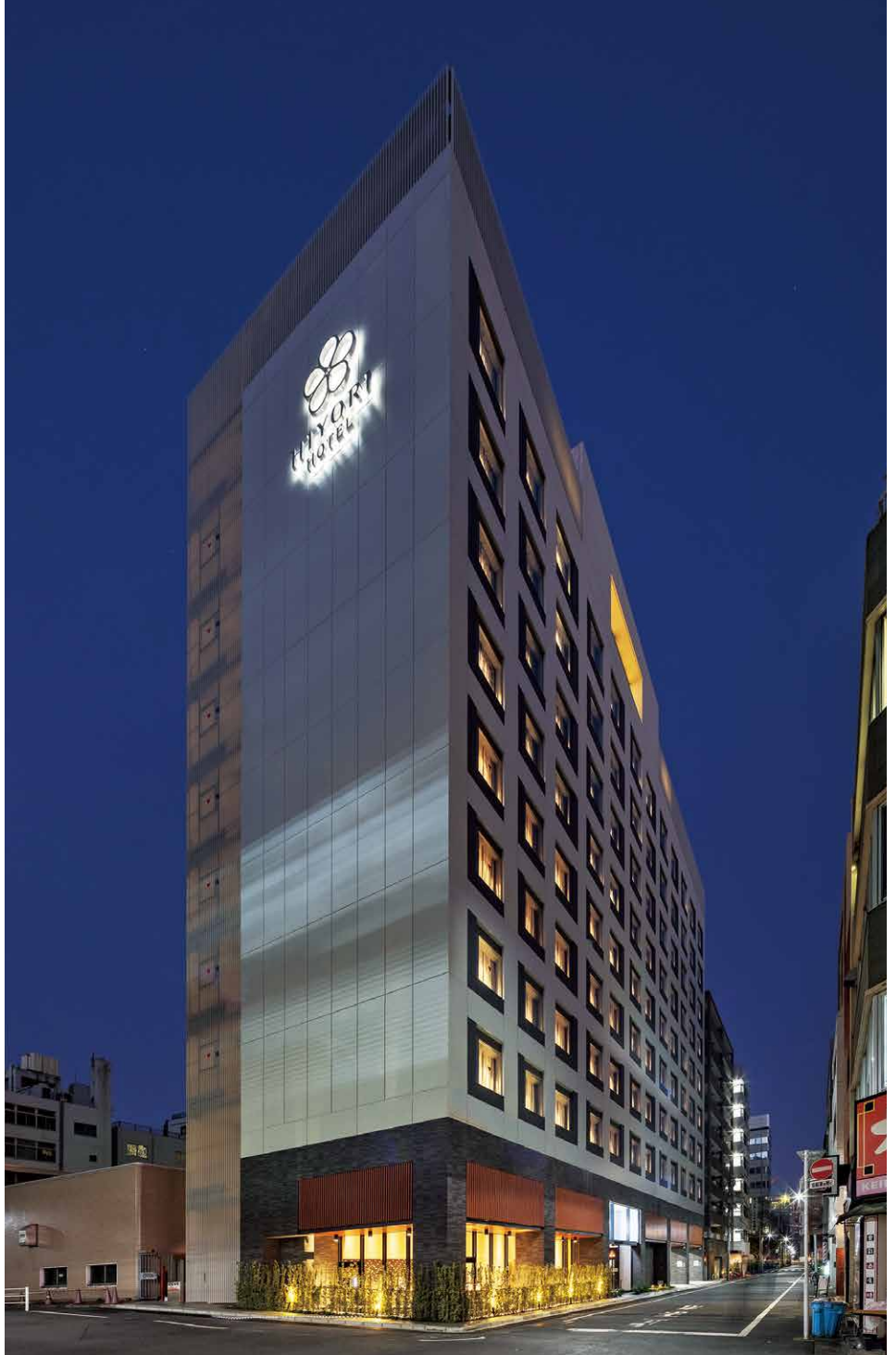
本施設の大きな特徴である露天風呂については、中央区では指導基準が他地域と比べて厳しく、これまで許可の前例がほとんどないなかで、視線の通り方や内部の設えについて区と詳細な検討・協議を重ねたのちに実現したものである。「銀座の風を感じながら寛げる場所をお客様に提供したい」という建築主の思いが実を結んだ形となった。

和・粋・艶

デザインコンセプトは日本の「和」、江戸の「粋」に加えて、かつて花街として栄えた新富町ならではの「艶」をキーワードとし、木格子、左官壁や畳といった和を感じる素材のほか、緋色や黒といった色気のある色調をロビーや客室インテリアに積極的に取り入れた。特に客室にはこういった建築的な要素のほか、造作家具の機能的な設えやアメニティ等に建築主のこだわりや経験に基づく工夫が多数散りばめられている。

外装は、妻側を壁面とサインによるシンプルで象徴的な立面構成とし、客室のある南北面は自然換気パネルと排気ガラリが一体となった大きな開口部、壁面の色分けおよび躯体目地による格子様の意匠とした。特に目に触れやすい基壇部にはタイルと木目調ルーバーによる和の表情を表現した。

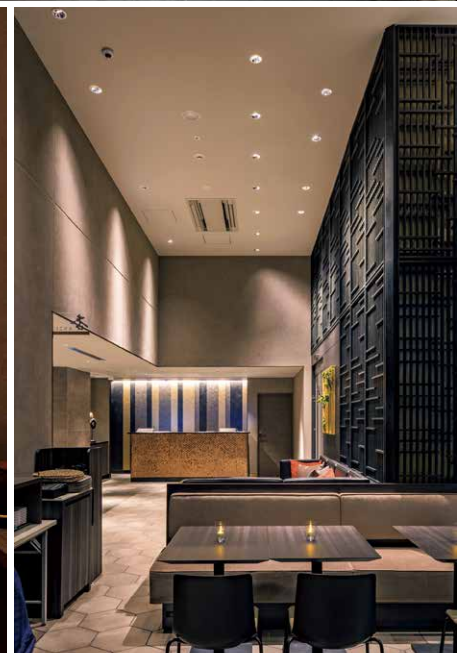
(梶 隼平／松田平田設計)



南西側外観夜景



レストラン



レストランからフロントを見る



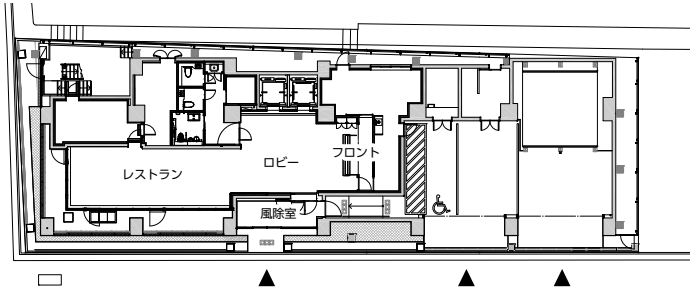
露天風呂



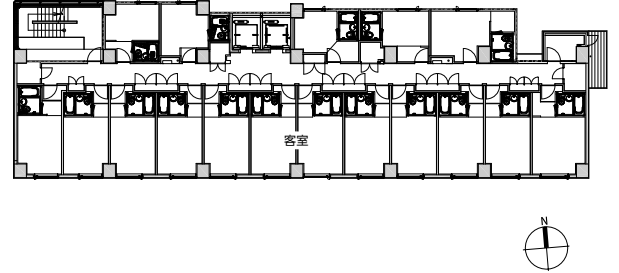
屋上テラス



客室



配置・1階平面図 縮尺1/500



基準階平面図

銀座 露天の湯 日和ホテル東京銀座EAST データ

所在地 東京都中央区新富1-2-13

主要用途 ホテル

建築主 サンフロンティア不動産株式会社

運営会社 サンフロンティアホテルマネジメント株式会社

設計・監理 松田平田設計

担当/総括: 武田 勤、富田 誠 建築: 山崎敏幸、
梶 隼平 構造: 平岡秀章、小嶋一寛 設備: 塩出
和人、五十畑武、阿部加奈子、原田雅教
インテリア: 渡辺真人、名波千尋、知野珠里奈
監理: 垣内 昇

施工 三井住友建設

担当/所長: 佐久間秀雄 建築: 吉田和博、安藤
崇真、岩本大和 設備: 小笠貴之、水越圭介

設計期間 2017年4月~2018年2月

工事期間 2018年3月~2019年11月



山崎 敏幸……やまざき としゆき
1992年早稲田大学理工学部建築学科
卒業後、松田平田設計入社。現在、
同社総合設計室第三建築設計部長



梶 隼平……かじ じゆんぺい
2012年京都大学大学院工学研究科建
築学専攻修了後、松田平田設計入社。
現在、同社第三建築設計部副主任



名波 千尋……なわ ちひろ
2014年松田平田設計入社。竣工時イ
ンテリア設計部主任 (2019年退社)



知野 珠里奈……ちの じゆりな
2007年東京造形大学造形学部絵画科
卒業後、ドイツ留学を経て、2016年
松田平田設計入社。現在、同社インテ
リア設計部在籍



10階エレベーターホール



11階大浴場入口

開業 2019年12月1日

【建築概要】

敷地面積 551.38㎡
建築面積 432.68㎡
延床面積 3,719.26㎡
建ぺい率 78.48% (許容80%)
容積率 599.75% (許容600%)
構造規模 RC造 地上11階
最高高さ 40.575m
軒高 39.675m
階高 3.4m
天井高さ 2.642m
主なスパン 6.2m×7.565m
道路幅員 西側12m、南側8m
駐車台数 10台

地域地区 商業地域/防火地域/駐車場整備地区/京橋
地区地区計画

客室数 135室

ダブル (約13~15㎡) ×32室、デラックスダブル (約
18㎡) ×46室、ツイン (約18㎡) ×40室、デラックス
ツイン (約19・21㎡) ×16室、ユニバーサルルーム (約
22㎡) ×1室

【設備概要】

電気設備 受電方式/3φ3W6.600V1回線受電 変圧
器容量/電灯300kVA、動力300kVA 予備電源/非常
用発電機 低圧130kVA

空調設備 空調方式/電気式ヒートポンプパッケージ方
式 熱源/電気

衛生設備 給水/受水槽+加圧給水ポンプ方式 給湯/
ガスマルチ給湯器 排水/汚水雑排水合流

防災設備 消火/スプリンクラー、ガス消火 排煙/適
用外 (駐車場のみ自然排煙)

昇降機 11人乗×2基

特殊設備 機械式駐車 (横行昇降式・8台)

【主な外部仕上げ】

屋根 外断熱アスファルト防水
外壁 低層部: 磁器質タイル・アルミルーバー 基準階:
外装薄塗材E

建具 アルミサッシュ

外構 磁器質タイル

【主な内部仕上げ】

ロビー・レストラン 床/磁器質タイル 壁/磁器質タ
イル、左官壁、一部ブロンズミラー貼 天井/EP塗装

客室 床/置き畳、ビニル床シート 壁・天井/ビニル
クロス

浴室 床・壁/磁器質タイル 天井/バスリブ その他
/ステンレス浴槽 (タイル仕上げ)

撮影/川澄・小林研二写真事務所 三井笑奈、日吉祥太

協力会社

電気設備工事・機械設備工事	アベックエンジニアリング
押出成形セメント板	ノザワ
ガラス工事	タナチョー
U B 枠	カイダー・ベースボード工業

日和ホテル大阪なんば駅前 (SAKURA棟・MOMIJI棟)

大阪市浪速区

設計 / 浅井謙建築研究所

施工 / 西松建設



事業計画

計画地は大阪の2大繁華街ミナミの玄関口であり、関西国際空港から直結する南海難波駅最寄りの道路を挟んだ2つの敷地に訪日外国人旅行者を受け入れるホテル計画である。

設計主旨

計画にあたり道路を挟み2棟となるため、街中でそれぞれの連続する同一性と単独性を建築的に表現させること、なんばに宿泊する訪日外国人旅行者に和のかおりを体感させることに考慮してきた。

アイレベルにおいては、桜・紅葉・景石等を配した小庭や2棟をつなぐ路地エントランスを計画し、来訪者や歩行者に対し、趣のある街の風景を提供している。

基準階では、櫛引を施したタイル・燻しを模したタイルとコンクリート打放しボーダーにて2棟の連続したファサードをもつ建築物を平行に配置せず、それぞれ敷地の地形に合わせてランダムに配置することにより自然な街並みを創出している。

(羽室 靖 / 浅井謙建築研究所)

2棟でつくる連続した花と緑の回廊

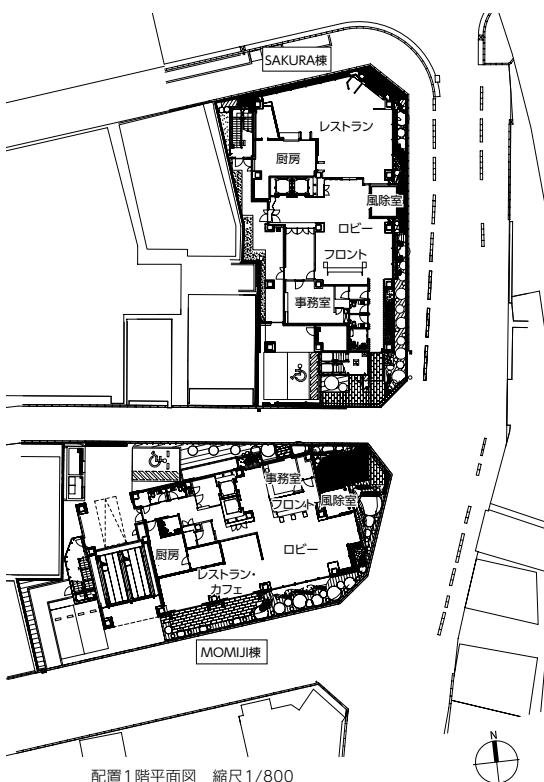
都心のなかであって、ランドスケープ的なものではなく、どちらかといえば雨上がりには土のおいがるようなお庭とした。

派手さはなくとも、ホテルのもてなす気持ちを伝える草花が、ここここで年中来訪を迎えるお庭を創出している。

(稲田明子 / 石勝エクステリア)



上 / 東側遠景 右がSAKURA棟、左がMOMIJI棟 中 / MOMIJI棟エントランスアプローチ夜景
左下 / SAKURA棟北東側外観 右下 / SAKURA棟サブエントランス



配置1階平面図 縮尺1/800



MOMIJI棟 フロント・ロビー

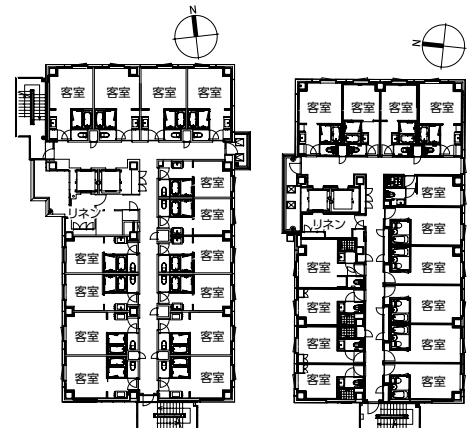


SAKURA棟 フロント・ロビー

ホテルインテリアデザイン

道頓堀五座のあった歴史と場所からDramatic Chicをテーマにシンプルモダンに和を感じるデザインを目指した。

空間には、能の考え方にもある序破急を用い、北棟と南棟において劇的な空間の連続性を楽しみ、緑に囲まれた都心の癒しと安らぎを与えた。 (南部昌亮/フォワードスタイル)



SAKURA棟基準階平面図
縮尺1/600

MOMIJI棟基準階平面図
縮尺1/600



SAKURA棟 レストラン



MOMIJI棟 レストラン・カフェ



MOMIJI棟 エレベーターホール

施工計画

本プロジェクトは、大阪市難波の南海難波駅西側交差点に位置する市街地狭小地に2棟のホテルを建設する工事であった。受注してからの設計者との面談で、「職人気質な精鋭部隊で施工を挑む」、「造る物は原寸だ」、「施工図は大きく極力原寸に近い物で確認する」という言葉が頭に残り、施工者としての心が熱くなり、ものづくり精神とこだわりを持って施工に臨んだ。

なかでも建物の顔である外観のタイル打込みPCの色や肌については、LIXILの協力得て、型から作り、何度も見本の確認を行った。また、足元の街中とは思わせない緑溢れる

風景にもこだわり抜き、納得するまでプレゼンを行った。室内については、設備器具やサイン配置を含め細かな所まで納まりを何度も検討した。

難しい局面もあったが、一緒に昼夜ものづくりに参加してくれた粋な職人さんの仕事に向かう熱心な姿勢、近隣の方々のご協力もあり、施工を進めることができた。そして、建築主、設計者をはじめ、多くのプロフェッショナルな方々とともに取り組むことで知見を広げ、市街地狭小地で2棟の建物を同時に効率よく施工する貴重な経験をさせていただいたプロジェクトであった。

(藪 朋昭/西松建設)



PC検査の状況



藪 朋昭……やぶ ともあき
1973年生まれ。1992年西松建設入社。現在、同社西日本支社 現場所長

日和ホテル大阪なんば駅前 (SAKURA棟・MOMIJI棟)

データ

所在地 SAKURA：大阪市浪速区難波中3-1-2
MOMIJI：大阪市浪速区難波中3-2-1

主要用途 ホテル

建築主 合同会社難波中三丁目開発プロジェクト

ホテル運営 サンフロンティアホテルマネジメント

設計・監理 浅井謙建築研究所

担当/総括：羽室 靖 建築：鶴田勇二、岩田和哉
構造：吉岡智和 京谷 菜 設備：北隅秀夫 監理：福田兼久

インテリア フォワードスタイル

担当/南部昌亮、中村大輔、林 美樹、小野さやか
ランドスケープ 石勝エクステリア 担当/稲田明子

施工 西松建設

担当/藪 朋昭、早野 誠、小林茂生、島田 啓

設計期間 2017年5月～2018年3月

工事期間 2018年3月～2019年4月

開業 2019年5月30日



MOMIJI棟客室(デラックスツイン)

[建築概要]

敷地面積 SAKURA：594.62㎡ MOMIJI：686.78㎡

建築面積 SAKURA：456.54㎡ MOMIJI：404.47㎡

延床面積 SAKURA：3,690.65㎡

MOMIJI：2,923.61㎡

建ぺい率 SAKURA：76.78% (許容100%)

MOMIJI：58.90% (許容90%)

容積率 SAKURA：599.93% (許容600%)

MOMIJI：397.59% (許容400%)

構造規模 SAKURA：S造 地上10階

MOMIJI：S造 地上9階

最高高さ SAKURA：39.30m MOMIJI：35.09m

軒高 SAKURA：35.30m MOMIJI：31.09m

階高 SAKURA：3.40m MOMIJI：3.30m

天井高さ SAKURA：2.60m MOMIJI：2.60m

主なスパン SAKURA：6m×7.9m

MOMIJI：5.7m×8.2m

道路幅員 SAKURA・MOMIJI：11.0m

駐車台数 SAKURA：2台 MOMIJI：8台

地域地区 SAKURA・MOMIJI：商業地域、防火地域

客室数

SAKURA：全124室

デラックスダブル(23㎡)×2室、デラックスツイン(22㎡)×35室、ユニバーサルダブル(22㎡)×1室、ファミリーツイン(21㎡)×36室、スタンダードダブル(18㎡)×50室

MOMIJI：全100室

デラックスツイン(22㎡)×15室、ユニバーサルダブル(22㎡)×1室、スーペリアダブル(21㎡)×4室、ファミリーツイン(20㎡)×24室、スタンダードツイン(20

㎡)×16室、スタンダードダブル(18㎡)×16室、ベシックダブル(17㎡)×24室

[設備概要]

電気設備 受電方式/6,600V 1回線受電

空調設備 空調方式/電気式空冷ヒートポンプエアコン(マルチエアコン)

衛生設備 給水/受水槽+加圧給水ポンプ 給湯/ガス給湯器連結設置(マルチシステム) 排水/雨水、生活排水合流式自然放流

防災設備 消火/消火器、スプリンクラー設備、連結送水管設備、フード・ダクト用簡易自動消火装置、誘導灯、自動火災報知設備 排煙/SAKURA：機械排煙 MOMIJI：自然排煙

昇降機 ロープ式11人乗 90m/min×2基

[主な外部仕上げ]

屋根 アスファルト外断熱防水

外壁 Pcaタイル打込

建具 アルミサッシ

外構 タイル

[主な内部仕上げ]

ロビー 床・壁/磁器質タイル 天井/EP塗装

レストラン (SAKURA) 床・壁/磁器質タイル 天井/EP塗装

レストラン (MOMIJI) 床/ビニル床タイル 壁/磁器質タイル 天井/EP塗装

客室 床/ビニル床タイル 壁・天井/ビニルクロス

撮影/写真通信



浅井 謙……あさい けん

1940年大阪府生まれ。1959年大阪市立都島工業高等学校建築科卒業、同年日建設計入社。1986年浅井謙建築研究所設立。現在、同社代表取締役会長



羽室 靖……はむろ やすし

1967年大阪府生まれ。1989年浅井謙建築研究所入社。現在、同社執行役員 大阪第4計画室 室長



鶴田 勇二……つるた ゆうじ

1970年大阪府生まれ。2006年浅井謙建築研究所入社。現在、同社計画室 副室長



南部 昌亮……なんぶ まさあき

1955年大阪府生まれ。1978年武蔵野美術大学建築学科卒業、1980年アメリカ設計事務所ONUMA WOOD ASSOCIATES,INC.、1983年ARFLEX JAPAN GROUPを経て、現在、フォワードスタイル代表取締役社長



中村 大輔……なかむら だいすけ

1960年長野県生まれ。1980年武蔵野美術短期大学デザイン科卒業、1984年APO(arflex planning organize)を経て、1994年DNA設立。2007年～フォワードスタイルと協働。スペースデザインカレッジ講師



稲田 明子……いなだ あきこ

2010年石勝エクステリア入社。現在、同社関西支店地域統括事業部

協力会社

電気設備工事	nextジェネレーション
空調・衛生設備工事	キダ設備業
土工事	柳興業
杭工事	丸五基礎工業
鉄筋工事	永和興業
鉄骨階段工事	横森製作所
金属工事	阪神作物
樋工事	タイエ
金属製建具工事	文化シャッター
地下止水・防水工事	Y K S
シーリング工事	藤井工業
左官工事	安永壁産
塗装工事	竹林塗装工業
押出成形セメント板	アイカテック建材
内装・耐火間仕切工事	モトヤ商会
内装工事	フカエ
木製建具工事	H A U Z E X
木工事	雄伸
UB枠・SBコーナー・SBササラ	カイダー・ベースボード工業
床材・壁装材・ファブリック類	サンゲツ
サイン工事	オース
外構工事	前田道路
造園工事	石勝エクステリア
美装工事	アイ・カンパニー
美装工事	寿美装